

北海道議会議員(手稲区) 立憲民主党公認候補予定者に決定!!

しみず

立憲民主党ていね支部副代表(道政担当)

清水たかひろ

私も全力で
応援します



衆議院議員
おおつき紅葉

共に
頑張ります!



須田靖子道議から
バトンタッチ!!



札幌市議会議員
おの正美



前・札幌市議会議員
福士 勝

立憲民主党は、しみず 清水 たかひろを須田 靖子道議の後継として北海道議会議員選挙(手稲区)の公認候補予定者に決定しました。須田道議は「働く仲間の労働条件向上、安心な医療体制作り、環境問題」などの実現に向け、市民自治の向上や福祉のまちづくりに長年取り組んできました。

しみず 清水 たかひろは「須田道議の想いをしっかりと受け継ぎながら、これまでの経験を活かして手稲区民のみなさんと一緒に新しい政治をつくっていきたい」と抱負を述べています。

RIKKEN
MINSHU
号外
2022年10月25日
北海道第4区ていね版

立憲民主編集部
〒102-0093
東京都千代田区平河町
2-12-4 ふじビル3F
Tel. 03-6811-2301
Fax. 03-6811-2302
goiken@cdp-japan.net
http://cdp-japan.jp/

立憲民主党
The Constitutional
Democratic Party of Japan

しみず たかひろ
手稲区民のみなさん、こんにちは。清水 敬弘です。
子育て世代の47歳です。私は、みなさんの声を道政に届けていく
ため、手稲区が直面している様々な課題にしっかりと向き合います。
手稲区が持っている素晴らしい財産、魅力を存分に活かし、活力
あふれる元気なまち「ていね」の未来実現に向けて、自らのこれまでの
経験と持てる力のすべてを注ぎ、全力を尽くす決意です。
一緒に未来を創りましょう！



01 みなさんの笑顔が輝く 元気なまち「ていね」

子どもたちが健やかに笑顔で暮らせるまち、子育てがしやすいまちは、人々の心が通じる思いやりに満ちたまちであると思います。それは、高齢者や障がいのある方などにとっても優しく、ぬくもりあるまちです。みなさんの笑顔が輝く元気なまち「ていね」をめざします。



02 自然の豊かさを活かした 魅力あふれる元気なまち 「ていね」

手稲区は市内でも極めて自然に恵まれた地域です。また、豊かな景観が四季折々の表情を見せる魅力あふれるまちであり、道都札幌の発展には欠かすことのできない潜在性を秘めた地域です。食と緑を守る政策を道政に届けるため、自然の豊かさを活かした魅力あふれる元気なまち「ていね」をめざします。



03 産業を軸に資源と経済が 循環する活力あふれる 元気なまち「ていね」

長引くコロナ禍や円安の影響などにより、地域の社会経済・産業が深く疲弊し傷んでしまいました。商店街や地元産業の活性化を基軸とした地域資源と経済が循環する活力あふれる元気なまち「ていね」をめざします。



しみず たかひろ

清水敬弘プロフィール

- 1975(昭50)2月4日、斜里郡清里町で農業を営む両親の長男として生まれる。高校卒業までスピードスケートと陸上競技で心身を鍛える。
- 1995年3月、北海道立農業大学校を卒業。翌1996年3月より幅広い農業知識と国際的感覚を身につけるためドイツ連邦共和国(ハッセン州ノイホフ)に1年間の農業留学。帰国後、本籍地で農業に従事。
- 2000年12月、妻と結婚(現在:娘19歳、息子16歳)
- 2008年9月、農業団体「北見地区農民連盟」の専従職員として勤務。
- 2018年4月、参議院議員 徳永 エリ北海道事務所で公設秘書として勤務。4年半、北海道内各地で徳永議員に帯同し、地域の多岐にわたる課題解決を中心に議員間の連携や選挙応援などに奔走することで政治活動を学ぶ。
- 2022年10月15日、立憲民主党ていね支部 副代表として活動を開始。

私も応援
しています

徳永エリ参議院議員からのメッセージ

私の秘書として4年半、清水くんは、日本一広い、参議院北海道選挙区をともに走り回り、どんなにきついスケジュールでも不満一つ言わずに私を支えてくれました。真面目で努力家、何事にも熱心に取り組めます。これからは、その経験と行動力を手稲区の皆さんのために活かし、地域の課題解決につなげてくれるものと確信しています。国政と道政、連携して働ける日を楽しみにしています！

